





## 日本史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 19 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、日本史 B の問題である。出願の時に選択した科目であるかどうかを確認の上、解答すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入またはマークすること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
7. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
8. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は必ず持ち帰ること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	  

※ この問題用紙は、必ず持ち帰りなさい。





〔 I 〕 次の史料を読んで、以下の設問に対する、もっとも適切な答えを1つ選び、マーク解答欄にマークしなさい。

口遊 去年八月二条河原落書云々 元年歟

(ア) 此比都ニハヤル物 夜討強盗謀綸旨<sup>(イ)</sup>  
召人早馬虚騒動 生頸還俗自由出家

俄大名迷者 安堵恩賞虚軍

(ウ) 本領ハナルノ 訴訟人 文書入タル細葛<sup>(エ)</sup>  
追従讒人禅律僧 下克上スル成出者  
器用堪否沙汰モナク モルノ人ナキ決断所  
キツケヌ冠上ノキヌ 持モナラハヌ笏持テ  
内裏マシハリ珍シヤ 賢者カホナル伝奏ハ  
我モ我モトミユレトモ 巧ナリケル詐ハ  
ヲロカナルニヤヲトルラム ……

(オ) ハサラ扇ノ 五骨 ヒロコシヤセ馬薄小袖  
日銭ノ質ノ古具足 関東武士ノカコ出仕  
下衆上臈ノキハモナク 大口ニキル美精好  
鑑直垂猶不捨 弓モ引エヌ犬追物  
落馬矢数ニマサリタリ 誰ヲ師匠トナケレトモ  
遍ハヤル小笠懸 事新キ風情也

(カ) 京鎌倉ヲ コキマセテ 一座ソロハヌエセ連歌<sup>(キ)</sup>  
在々所々ノ歌連歌 点者ニナラヌ人ソナキ  
譜第非成ノ差別ナク 自由狼藉ノ世界也  
…… 四夷ヲシツメシ鎌倉ノ

(ク) 右大将家ノ 掟ヨリ 只品有シ武士モミナ  
ナメンタラニソ今ハナル 朝ニ牛馬ヲ飼ナカラ  
タニ賞アル功臣ハ 左右ニオヨハヌ事ソカシ  
サセル忠功ナケレトモ 過分ノ昇進スルモアリ  
定テ損ソアルラント 仰テ信ヲトルハカリ

天下一統メツラシヤ 御代ニ生テサマサマノ  
(ケ) 事ヲミキクソ不思義共 京童ノロスサミ  
十分一ソモラスナリ

1. 下線部(ケ)に関して、この時期の政権が成立するに至る経緯の説明として誤っているものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 後嵯峨上皇が皇子の後深草天皇に同母弟の亀山天皇への譲位を命じたことから持明院統と大覚寺統の二つの皇統が対立するようになった。
- ② 幕府から提示された両統の迭立の原則などに不満を抱いていた後醍醐天皇は、院政を停止し、記録所を再興するなど、天皇親政を行うようになり、討幕を計画するに至る。
- ③ 密告により露見し失敗に終わった元弘の変の7年後、後醍醐は再び討幕を計画する。この計画も密告により露見し、翌年、後醍醐は隠岐に流された。
- ④ 後醍醐の息子、護良親王や楠木正成ら討幕派を攻撃するために、関東から上洛した足利高氏は、後醍醐方に転じ、六波羅探題を攻略した。

2. 下線部(イ)に関して、この時期の政権のあり方について述べた文として誤っているものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 後醍醐天皇は、平安時代の延喜・天曆の治を理想とし、摂政・関白を置かず、天皇親政を復活させた。
- ② 天皇への権限集中を図った後醍醐天皇は、鎌倉幕府以来の守護制度を廃止した。
- ③ すべての土地の所有権の確認には、天皇の綸旨を必要とすることとした。
- ④ 関東、奥羽の統治のために、鎌倉将軍府と陸奥将軍府を置き、それぞれに後醍醐の皇子を送り込んだ。

3. 下線部(ウ)に関して、中世の土地制度と税制に関して述べた文として誤っているものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 鎌倉時代には所領をめぐる紛争が多発したため、御成敗式目には所領に関する規定が多く含まれている。
- ② 鎌倉時代に比べ、室町時代の守護は、刈田狼藉の取り締まりを行ったり、荘園・公領の年貢の半分を軍費として徴収するなど、権限が拡大された。
- ③ 室町幕府は、直轄地である御料所からの収入を補うために、足利義政が將軍の時、土倉役、酒屋役の課税制度を設けた。
- ④ 荘園・公領の年貢徴収・納入を守護が請け負う制度を守護請といい、村落の名主・百姓が共同で荘園管理・年貢徴収を請け負うのを地下請という。

4. 下線部(エ)に関して、中世の禅宗について述べた文として正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 中国から帰国した栄西が、臨済宗を伝えるとともに喫茶の文化をもたらし、建長寺を開いた。
- ② 蘭溪道隆の弟子であった義堂周信、絶海中津ら、五山の禅僧たちによる漢詩文学を五山文学と呼ぶ。
- ③ 一休宗純に参じた武野紹鷗は、茶禅一味の精神に基づく侘茶を創始した。
- ④ 初め五山の上位にあったが十刹の下位に落とされた大徳寺や、曹洞宗の永平寺、総持寺など、林下と呼ばれる諸派が地方の武士や民衆の間で活発に布教活動を進めるようになった。

5.

大学より訂正があり、問題を削除します。

6. 下線部(カ)に関して、南北朝期から室町期にかけての幕府と朝廷の関係について述べた文として正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 足利尊氏は、後醍醐天皇の菩提を弔うために、尊氏、後醍醐ともに帰依していた夢窓疎石を開山(初代の住持職)として、天龍寺を創建した。
- ② 室町幕府は、義詮が將軍だったときに、京都市中の警察権や、国内一律に税を賦課する権利など、それまで朝廷の権限であったものを幕府の管轄下に置くようになった。
- ③ 足利義満は、武家としては平清盛以来の太政大臣となり、妻を光明天皇の准母とした。
- ④ 足利義満は、南朝の後小松天皇から、北朝の後亀山天皇に讓位するという形をとることで、南北朝の合一を行った。

7. 下線部(キ)に関して、次の連歌が収められた連歌集の著者または選者と、その様式の名の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

雪ながら山本かすむ夕べかな  
行く水とほく梅にほふさと  
川風に一むら柳春見えて  
舟さす音もしるきあけがた

A：宗鑑

B：宗祇・肖柏・宗長

C：俳諧連歌

D：正風連歌

① A, C

② A, D

③ B, C

④ B, D

8. 下線部(ク)に関して、鎌倉時代の法に関して述べた次の文A～Dの正誤の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

A：執権北条泰時の時に定められた御成敗式目は、頼朝以来の先例にとらわれず、当時の武士たちに重視されていた道理に基づいて制定された。

B：御成敗式目においては、女性の所領相続権が認められていた。

C：御成敗式目は、御家人所領の売買を禁止し、売却地を無償で取り戻させるために定められた。

D：御成敗式目には律令と相容れない規定も含まれているが、律令そのものを変更するものではなかった。

① A：正, B：誤, C：正, D：誤

② A：正, B：誤, C：誤, D：正

③ A：誤, B：正, C：正, D：誤

④ A：誤, B：正, C：誤, D：正



9. 下線部(ケ)に関して、南北朝期から室町期にかけての戦乱に関して述べた次の文について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下記の①～④の中から選びなさい。

A：将軍による守護の弾圧に危機感を抱いた赤松満祐が、将軍を殺害した。

B：六分の一衆と呼ばれた山名氏清が甥の満幸とともに京都に兵を進めたが敗れた。

C：関東管領上杉憲実を鎌倉公方が攻めたが、将軍は鎌倉公方討伐軍を送った。

① A→B→C

② A→C→B

③ B→C→A

④ C→A→B

10. 中世の貿易や外交に関して述べた文として誤っているものを、下記の①～④の中から選びなさい。

① 鎌倉時代にも元との交易が全くなかったわけではなく、1325年には建長寺の再建費用を得るために鎌倉幕府が貿易船を派遣している。

② 李成桂が建国した朝鮮との貿易では、木綿や大蔵経などが輸入されたが、寧波に住む日本人居留民が起こした反乱以後衰えた。

③ 室町時代の日明貿易における主な輸入品としては銅銭のほか、生糸・高級織物・陶磁器・書画などがあり、これらは唐物と呼ばれて珍重された。

④ 鎌倉末から南北朝期のころ、壹岐・対馬・肥前松浦の住民を中心とする海賊集団が主に高麗の沿岸を襲い、倭寇と呼ばれた。

〔Ⅱ〕 次の文章は、主に江戸時代の産業の発展について述べたものである。これを読んで、下記の設問に対するもっとも適切な答えを1つ書きなさい。設問2, 4, 5, 9, 10については記述解答欄に記入し、設問1, 3, 6, 7, 8についてはマーク解答欄にマークしなさい。

17世紀後半以降の著しい農業や諸産業の発達<sup>(ア)</sup>は、各地の城下町・港町<sup>(イ)</sup>を中心に全国を結ぶ商品流通の市場を形成した。その中心となったのは、古代より天皇家や公家の居住地であり寺院の本寺・本山が多く存在する京都、「將軍のお膝元」である江戸<sup>(ウ)</sup>、そして「天下の台所」といわれた大坂の「三都」<sup>(エ)</sup>である。

17世紀末に全国市場が確立し、三都や城下町などの都市が発達すると、都市の住民を中心に消費需要が多様化し、これに応じて商品生産が活発化していった。農業では、一般の百姓たちも野菜や果物などを商品作物として生産するようになり、それぞれの風土に適した特産物<sup>(オ)</sup>が、大名などの奨励のもとで全国各地に生まれた。また、農業以外にも林業、窯業<sup>(カ)</sup>、漁業、醸造業、織物業などの諸産業が著しく発達し、それらの流通や運輸をに<sup>(キ)</sup>なる様々な事業が発展した。貨幣は、両替商<sup>(ケ)</sup>により流通が促進された。両替商は、幕府や藩の公金<sup>(ク)</sup>の出納や為替・貸付などの業務を行い、その財政を支えた。幕政が安定し、経済がめざましく発展すると、武士や上方豪商などの富裕層のみならず、町人や地方商人、有力百姓など多彩な文化の担い手が生まれた。この時期の文化を元禄文化と呼ぶ。<sup>(コ)</sup>

1. 下線部(ア)に関し、この頃の以下のできごと a～f を、年代順に古いものから正しく配列したものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| a : 由井(比)正雪の乱 | b : 宝永大噴火      |
| c : 赤穂事件      | d : 生類憐みの令の廃止  |
| e : 明暦の大火     | f : シャクシャインの戦い |

- ① a → e → f → c → b → d  
② e → a → f → b → d → c  
③ f → a → e → c → d → b  
④ a → f → e → b → c → d

2. 下線部(イ)に関して述べた以下の文章の、空欄Aに入る語句を漢字2文字で書きなさい。

□ A □ は古代・中世では小作料(乗田などの賃料)をさしていたが、室町期以降は都市の宅地税(屋敷地にかけられる年貢)の名称となり、銭で支払われたので □ A □ 銭という。城下町では □ A □ が免除されるところが多かった。

3. 下線部(ウ)に関し、寺院と宗派の組み合わせとして誤っているものを下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 仁和寺－臨濟宗                      ② 知恩院－浄土宗  
③ 万福寺－黄檗宗                      ④ 青蓮院－天台宗

4. 下線部(エ)に関し、大坂の野菜・果物の市で、江戸の神田と並称される、1653年に公認された畿内第一の青物市場の名称を漢字6文字で書きなさい。

5. 下線部(オ)に関し、江戸後期の名産物品を収録した、本文は木村兼葭堂の著とされる1799年に刊行された図会の名称を、漢字8文字で書きなさい。

6. 下線部(カ)に関し、初代酒井田柿右衛門が赤絵具を基調とする赤絵の技法を完成し、一層発達した陶磁器の名称を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 瀬戸焼              ② 備前焼              ③ 九谷焼              ④ 有田焼

7. 下線部(キ)に関し、廻船問屋として大坂との取引も盛んに行った、出羽庄内の日本最大級の豪商の名称を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 角倉家              ② 住友家              ③ 本間家              ④ 茶屋家

8. 下線部(ク)に関して述べた以下の文のうち、正しいものを下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 錢貨鑄造の機関である錢座は、1609年に江戸で寛永通宝の鑄造を開始して以来、民間請負の形で大坂、長崎、秋田などに設置され、金座・銀座の支配を受けた。
- ② 金座は江戸と京都におかれ、銀座はまず大坂・長崎におかれ、のちに京都・江戸に移されて、丁銀などの秤量貨幣を鑄造した。
- ③ 徳川綱吉は、慶長小判に含まれていた金の比率を減らして、正徳小判を鑄造した。新井白石は、物価の騰貴を抑えるため、のちに宝永小判を慶長小判と同質量に復した。
- ④ 幕府公認の秤製造・販売商を、秤座と呼び、京都秤座は神家、江戸秤座は守随家とされ、それぞれ西国・東国各 33 国の秤を分掌した。

9. 下線部(ク)に関し、伊勢松坂の出で、1673年に江戸で呉服店を開き、両替商を兼業して産をなした人物の氏名を漢字 4 文字で書きなさい。

10. 下線部(コ)に関し、安房生まれの浮世絵の大成者で、『歌舞伎図屏風』や『月次のあそび』などの芸術作品の作者の氏名を漢字で書きなさい。

〔Ⅲ〕 次の史料を読んで、以下の設問に対するもっとも適切な答えを1つ解答欄に書きなさい。設問1～4については記述解答欄に記入し、設問5～10についてはマーク解答欄にマークしなさい。

【史料1】

・・・<sup>おも</sup>惟フニ大憲制定終局ノ御趣意ハ、広ク国民ヲシテ大政ニ参与セシメ、広ク国民ヲシテ国家ノ進運ヲ<sup>ふち</sup>扶持セシメラルヽニ在リト<sup>あ</sup>拝察致スノデアリマス。(拍手)学制、兵制、自治制等ノ創始以来五十年内外、憲政施行以来三十有六年デアリマシテ、国民ノ知見能力ニ対スル<sup>しれん</sup>試練ハ既ニ相当ニ<sup>あ</sup>尽サレタリト認ムルノデアリマス。(拍手)今ヤ正ニ  ノ制ヲ定メ、<sup>あまね</sup>周ク国民ヲシテ国運進展ノ責任ニ<sup>あた</sup>膺ラシムベキノ<sup>とき</sup>秋デアルト信ズルノデアリマス。(帝国議会衆議院議事速記録)

【史料2】

第一条 国体ヲ<sup>あ</sup>変革シ又ハ  制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ又ハ情ヲ知リテ之ニ加入シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ処ス…

第二条 前条第一項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ実行ニ関シ協議ヲ為シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ処ス

第四条 第一条第一項ノ目的ヲ以テ<sup>そうじょう</sup>騷擾、暴行其ノ他生命、身体又ハ財産ニ害ヲ加フヘキ犯罪ヲ煽動シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ処ス (官報)

1. 史料1中の空欄Aと異なり、納税額などを資格要件とする制度のことを、漢字4文字で記入しなさい。
2. 史料1で述べられている制度が提案された時の内務大臣は、議会答弁においてこの制度を「革命の安全弁」だと比喩的に答弁している。この内務大臣の氏名を漢字5文字で記入しなさい。
3. 史料2中の空欄Bに該当する用語を漢字4文字で記入しなさい。

4. 史料2の法律は、1928年に大日本帝国憲法第8条で規定された制度により改正されている。天皇大権の一つであるこの制度のことを、漢字4文字で記入しなさい。
5. 上記の2つの史料で扱われている法律は同じ内閣により同時期に制定されている。この時の内閣から「憲政の常道」による政権交代が続いたが、それらの諸政権の担当期間に実行されていない事項を下記の①～⑤の中から選びなさい。
- ① これらの政権は、護憲三派、憲政会、立憲政友会、立憲民政党、立憲政友会の代表者により次々と組閣された。
  - ② シベリア出兵で延引されていた国交樹立を、日ソ基本条約の締結により実現した。
  - ③ 台湾銀行救済のための日本銀行特別融資の案を枢密院で否決され、総辞職した。
  - ④ 満州における日本の既得権益を認めた日滿議定書を締結した。
  - ⑤ アメリカのケロッグ国務長官、フランスのブリアン外相が提案した不戦条約に調印した。
6. 以下の叙述は史料1に関連したものであるが、誤っているものを下記の①～⑤の中から選びなさい。
- ① 大日本帝国憲法下では、衆議院議員のみが公選されることになっており、当初は直接国税15円以上の男性納税者のみが選挙権を有していた。
  - ② 選挙人は徐々に拡大され、第2次山県内閣の下では直接国税10円以上、原内閣の下では3円以上の男性にまで拡大された。
  - ③ 空欄Aの制度案は、1911年には衆議院では可決されたが、貴族院で否決された。
  - ④ 大政翼賛会が結成されて以降、衆議院議員の被選挙権は翼賛政治体制協議会推薦者に限定された。
  - ⑤ 女性の参政権が認められるのは、日本国憲法公布以前であった。

7. 以下の叙述は史料2に関連したものであるが、誤っているものを下記の①～⑤の中から選びなさい。
- ① 第2次山県内閣時に制定された治安警察法は、史料2の法律が公布されたため廃止された。
  - ② この法律は、無産政党が議会に進出し、当時非合法の共産党の活動が表面化した時に、その弾圧のために適用された。
  - ③ 田中義一内閣は、この法による最高刑を死刑とし、道府県の警察にも特別高等課を設置した。さらに第2次近衛内閣の下で、再犯防止のための予防拘禁制度も追加された。
  - ④ 天皇機関説を唱えた美濃部達吉は、その説が反国体的だとして攻撃され、貴族院議員辞職に追い込まれた。
  - ⑤ 敗戦後も日本政府は「国体護持」のためこの法律を継続しようとしたが、GHQ覚書によって廃止された。

8. 以下の日本外交に関わる叙述を歴史順に整理するとどの順序となるか、下記の①～⑤の中から選びなさい。

- a. 田中義一内閣は、中国関係の外交官と軍代表を招集して「対支政策綱領」を決定し、満州における日本の権益を實力で守る方針を決定した。
- b. 第一次世界大戦参戦時にアメリカは、日本の中国に対する特殊権益を認める一方で、日本に中国の領土保全・門戸開放・機会均等の原則の確認を求めた。
- c. 中国政府の顧問として日本人の雇用を求める条項を撤回したが、旅順・大連の租借期限と南満州鉄道の租借期限を99年間延長することを認めさせた。
- d. 民族自決の国際世論の高まりを背景に、パゴダ公園で独立宣言書の朗読会がおこなわれた。
- e. 協調外交を進めてきた幣原外相の時に、ソ連との国交樹立を実現した。
- f. アメリカがチェコスロヴァキア軍救援を名目とする共同出兵を提唱したのを受けて、日本の寺内内閣は派兵を決定した。

① b→c→f→d→a→e

② b→e→c→f→a→d

③ c→b→e→f→a→d

④ b→c→e→f→d→a

⑤ c→b→f→d→e→a



9. 以下の叙述は金本位制及びブロック経済に関するものであるが、誤っているものを下記の①～⑤の中から選びなさい。

- ① 1871年に新貨条例で金本位制採用を決めたが、金準備の不足で確立できず、日清戦争の賠償金を得て1897年の貨幣法でようやく確立できた。
- ② 松方大蔵卿は、増税と緊縮財政を通じて紙幣整理をおこない銀本位制を実現したが、農民の負担は増し自作農が小作農に転落する事態を招いた。
- ③ 第一次世界大戦期にイギリスやアメリカは金の輸出を停止したが、戦争終結後再開している。日本も1917年に金の輸出を禁止したが、1930年1月にやっと井上蔵相の下で金輸出解禁に踏み切った。しかし、「大恐慌にむかって雨戸をあけはなつ」事態となり、正貨は急速に減少し円に対する信用不安を引き起こした。
- ④ 1931年9月にはイギリスが金本位制から離脱し、金解禁以来多額の正貨の流出が見られた日本では円買いが見られた。そして同年12月に犬養内閣の蔵相となった高橋是清は、直ちに金輸出を再禁止したのち管理通貨制度に移行させた。
- ⑤ 円ブロック内のみでは軍需産業用原料は足りず、資源を求めての南方進出は欧米の対日経済封鎖を強めることになった。

10. 以下のア～オの各項目にもっとも関係の深いものの組み合わせを下記の①～⑤の中から選びなさい。

ア. 大正期における労働者やサラリーマンなど一般勤労者を担い手とする大衆文化の誕生

(a. 『文学界』            b. 『サンデー毎日』    c. 『自由之理』)

イ. 大正デモクラシーの風潮のもとでの文学

(a. 白樺派                b. 日本浪漫派            c. 明星派)

ウ. 大正末から昭和初期のプロレタリア文学運動

(a. 『種蒔く人』        b. 『一握の砂』            c. 『夜明け前』)

エ. 関東大震災からの復興・再建を呼びかけ、第一次世界大戦後の国民教化をめざす

(a. 戊申詔書    b. 国民精神総動員運動    c. 国民精神作興に関する詔)

オ. 第2次世界大戦下の国民生活

(a. 総合切符制        b. 同潤会設立            c. 闇市)

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	a	c	b	c	c
②	b	a	a	c	a
③	c	c	c	b	c
④	b	a	b	a	a
⑤	a	a	b	b	b

〔IV〕 次の文章は、主に日本の現代について述べたものである。これを読んで、下記の設問に対するもっとも適切な答えを1つ書きなさい。設問1, 2, 5, 8, 9, 10については記述解答欄に記入し、設問3, 4, 6, 7についてはマーク解答欄にマークしなさい。

1945年8月15日正午、昭和天皇<sup>(ア)</sup>の玉音放送によって戦争終結が発表された日本は、戦争末期の連合国軍による度重なる本土空襲や無差別爆撃、そして二度にわたる原爆投下<sup>(イ)</sup>を経て、廃墟と化していた。米国を主導とした連合国軍による占領期<sup>(ウ)</sup>を経て、日本は高度経済成長期を迎えるが、年の経済白書にて「もはや戦後ではない」と発表されたように、日本の戦後復興はめざましいものがあった。かつて、極東の小さな島国に過ぎなかった日本が、明治以降、急速な近代化を遂げていったように、敗戦後、日本は廃墟から数十年も満たぬ間に経済大国<sup>(オ)</sup>と化したことは特筆に値する。世界史的にも、一世紀にも満たぬ間に、かくも度重なるはげしい振幅を遂げた国があっただろうか。だが、そのはげしい振幅には、様々な負荷をも伴った。アジアで最初の開催となった東京オリンピックや大阪での日本万国博覧会は、戦後日本の経済発展を世界に指し示す国家的行事となったものの、政府による経済成長優先によって、農山漁村は過疎化し、都市は過密化<sup>(カ)</sup>した。また、産業公害は深刻化し、受験戦争、極端な長時間労働と「過労死」など、様々な社会問題を抱えることとなる。

1990年代にはバブル経済が崩壊、地価や株価は暴落し、国内産業の現象も進み、数々の金融機関の破たんが続いた。また、1995年には阪神・淡路大震災、2011年には東日本大震災など、断続的に大規模震災に見舞われ、そのリスクは避けられぬ土壌にあるだけでなく、日本は世界的にも突出した超少子高齢化社会として、経済・社会保障・労働市場など社会構造をめぐる大きな変化に直面しつつある。さらに、1999年の東海村臨界事故、2011年の福島第一原発事故による放射能汚染問題が深刻化したことで、地球規模の環境問題<sup>(キ)</sup>が問い直される時代にある。

その点で、いまだ日本は戦後史のひずみとともにあるといえるだろう。いったい、私たちにとって豊かさとは何であろうか。そして私たちはどこに向かってい



6. 下線部(エ)の、特に 1960 年代の高度経済成長を促進した池田内閣が行った政策について記した下の文章のうち、誤っているものを①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 食糧需要調整と農業所得の安定化をめざして、農業の近代化と構造改善を図る農業基本法を公布した。
- ② 「政経分離」の方針のもと、中華人民共和国との貿易拡大をめざして、日中準政府間貿易(L T貿易)の取り決めに結んだ。
- ③ 都市の再開発を調整するために、都市計画手続きの決定権を地方公共団体に移し、開発地域を制限する権限も強めた新都市計画法の制定を行った。
- ④ IMF 8 条国への移行や貿易自由化を推進、また最初の女性大臣も実現した。

7. 下線部(オ)の 1980 年代に日本が置かれた状況について記した下の文章で、誤っているものを①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 日本は、巨額の財政赤字と貿易赤字とに苦しむ米国への輸出を増やしたことで、日米貿易摩擦が激化し、米国ではジャパン=バッシングが起こった。
- ② G 5 によるプラザ合意によってドル高是正が合意されたため、円高は一気に加速し、輸入産業を中心に円高不況が深刻化した。
- ③ 日本の対米貿易黒字が激増したため、米国は自動車などの輸出自主規制を求め、農産物の輸入自由化をせまった。
- ④ 開発途上国への政府の資金供与である政府開発援助(O D A)は、日本の場合、1985 年以降に急増し、1989 年には世界第一位となった。

8. 下線部(カ)に関連して、高度経済成長期には、中学を卒業したばかりの農村部の若者が集団就職で都市に向かう姿がみられた。これらの若者は当時何と呼ばれたか、漢字とひらがな計 3 文字で記しなさい。

9. 空欄 B にあてはまる、国内の規制やコスト高を避けるために欧米やアジアに生産拠点を移す日本企業が増加した現象を、漢字 3 文字で記しなさい。

10. 下線部(キ)に関連して、1997年に採択された、先進国の温暖化ガス削減目標が定められたものを何と呼ぶか、漢字5文字で記しなさい。



